

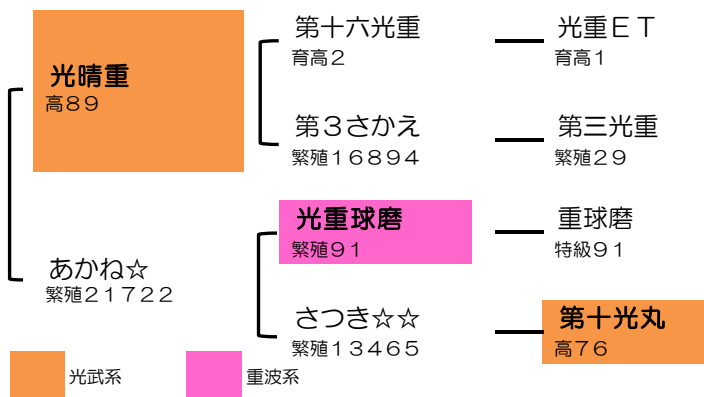
熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2022

だいにみつはる

褐毛和種種雄牛「第二光晴」の選抜



問 研究のねらいは？

答 熊本県で昔から多く飼われている褐毛和種について、その牛肉の生産性・品質向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました。

問 本牛の特徴は？

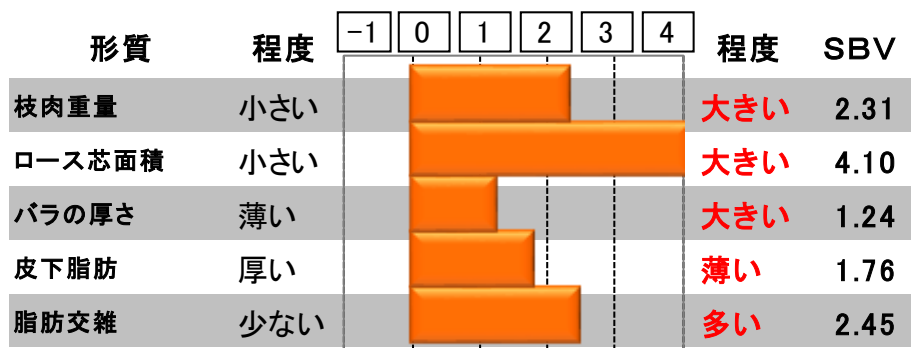
答 検定成績では枝肉重量の全体平均が500kgを超え、BMSNo.の全体平均も4.84と高く、「光晴重」の後継として肉量と肉質の両面で改良への貢献が期待されます。

【現場後代検定成績】

(単位:kg、cm²、cm)

頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	ぱらの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.	肉質等級(3等級以上)
去勢 14 頭	25.1	533.8	68.9	8.3	2.5	74.9	5.21	92.9% (13/14)
雌 5 頭	24.9	502.7	63.6	7.9	3.5	73.5	3.80	80.0% (4/5)

【産子の枝肉】



性別	去勢
枝重	566kg
ロース	91cm ²
ぱら厚	8.8cm
BMSNo.	8
等級	A-5

標準化育種価(SBV)とは？

各形質の育種価を同スケール上で比較したもの。値が+1以上の場合、改良効果が高い。

畜産研究所 生産基礎技術研究室